

1 中央地域

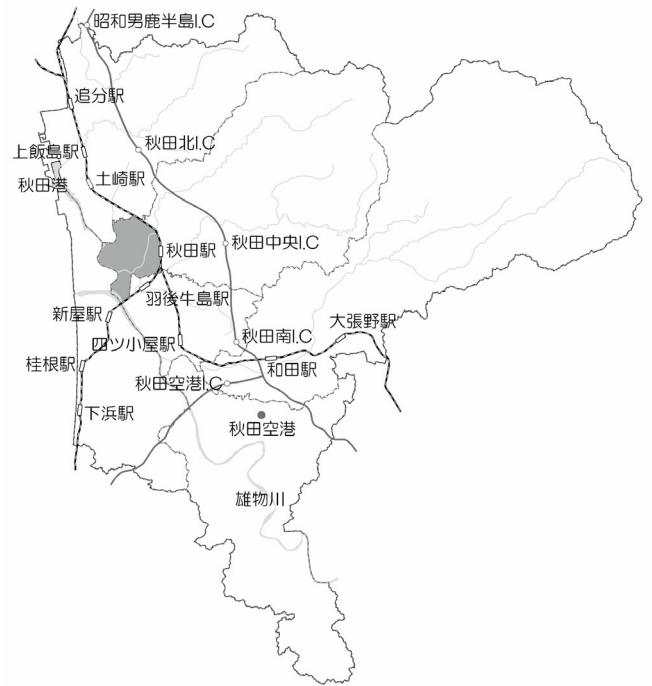
(1) 地域の概要

① 概況

中央地域は、本市のみならず、秋田県全体の拠点となる地域として、商業・業務機能、行政機能、交通機能など、あらゆる分野の都市機能が集積しています。

中心市街地は、鉄道やバスなど市内公共交通の拠点、商業・業務系施設が集積しているとともに、千秋公園などを活かした秋田市らしい街なか空間が形成されています。

山王地区には、市役所をはじめ、国や県の官公庁施設が集積しており、県の中心拠点としての役割を果たしています。また、八橋運動公園が整備されるなど、うるおいのある都市空間が形成されています。

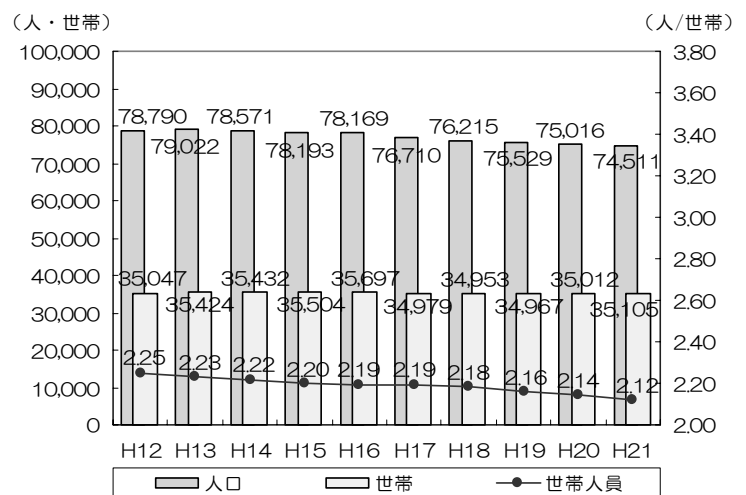


② 人口・世帯数の推移

中央地域の平成 21 年 10 月 1 日時点の人口は 74,511 人となっており、平成 12 年からの 10 年間で約 5.4% (4,279 人) 減少しています。

一方、世帯数は、平成 21 年で 35,105 世帯と 10 年間で約 0.2% (58 世帯) 増加と、ほぼ横ばい傾向を示しています。1 世帯当たりの人員は 2.25 人/世帯から 2.12 人/世帯に減少するなど、7 地域の中でも特に核家族化や単身世帯の進行が顕著となっています。

地域内の年齢別人口構成比(平成 17 年国勢調査より)をみると、年少人口(15 歳未満)が 12.5%、生産年齢人口(15~64 歳)が 65.4%、老年人口(65 歳以上)が 21.9%と、7 地域の中で 2 番目に生産年齢人口の割合が高い地域となっています。



※住民基本台帳(各年 10 月 1 日時点)より。H12,17 は国勢調査結果

③ 土地利用の状況・課題

中央地域の面積は約 1,810ha で、地域全体が秋田都市計画区域（線引き都市計画区域）に指定されています。河川部を除いたすべての地域に用途地域（約 1,450ha）が指定されており、農業地域や森林地域など、都市地域以外の地域指定はありません。

また、良好な都市景観を保全すべき地域として、千秋公園に隣接した地区に城跡風致地区が指定されています。

【商業・業務地】

本市の中心市街地には、大規模商業施設やホテル、小売店舗等が集積する商業地が形成されています。仲小路の一部はモール化され、市民の買い物の場となっていますが、近年では小売店舗数の減少に伴う空き店舗・低未利用地の増加や拠点性の低下が懸念されており、商業活力の向上・創出に向けて、良好な歩行者空間の確保や新たなイベントの創出など、ハード・ソフト両面からの対応が求められています。また、旭川沿いの大町地区では、古くからの娯楽飲食街が形成されており、現在もにぎわいをみせています。

都市計画道路新屋土崎線をはじめとする幹線道路沿いには、沿道型の大規模商業施設が進出しており、既存の商業・業務系施設とともに、後背に広がる居住環境と調和した商業地の形成が求められています。

【住宅地】

密度の高い住宅地が形成されており、近年では、マンションの進出も見られます。また、山王地区や川尻地区、秋操地区では、大規模な土地区画整理事業によって、都市基盤が整備された良好な住宅市街地が形成されています。

人口減少の影響により、空き家や空室の発生が課題となっていることから、生活利便性の高い都心部への街なか居住を促進するなど、既存ストックを活用していくことが求められています。

【工業地】

旧雄物川に沿って工業地が広がっています。

今後も、近接する秋田港周辺の工業団地との連携強化による、産業全体の活性化に向けた環境整備を進めるとともに、周辺の自然環境や居住環境と調和した操業環境の維持・更新が求められています。

【農地・自然環境】

高度な都市的土地利用が進む本地域では、まとまった農地は残されていませんが、旭川や太平川、草生津川などの複数の河川が地域内を流れ、また千秋公園や八橋運動公園、寺町地区には、貴重な緑地空間が確保されており、うるおいのある都市空間を生み出しています。

【その他の拠点・都市機能】

中心市街地には、観光拠点にもなる千秋公園およびその周辺に秋田県民会館や市立中央図書館などの文化機能が整備されており、北側の県立脳血管研究センター、南側の中通総合病院や秋田南税務署など、医療機能や一部の行政機能が整備されています。

山王地区には、市役所をはじめ秋田県庁や高等裁判所など、国や県の官公庁施設が集積しており、行政機能の中心拠点となっています。また、八橋運動公園や秋田市文化会館、県立図書館や県立体育館などのスポーツ・文化施設も多数立地しています。

市および県全体の発展を支える中心拠点として、これら既存都市機能の維持と更なる充実が求められています。

④ 交通施設の整備状況・課題

【地域間・地域内交通】

都市計画道路秋田環状線、千秋広面線、川尻総社線などで構成される都心環状道路は、周辺地域から都心への発着交通に対処する道路として位置づけられており、都心・中心市街地を取り囲むように整備されています。また、都心の通過交通を排除するための市街地環状道路として、国道7号、13号が整備されています。

本市の環状道路網を相互に連絡する分散導入路としては、都市計画道路新屋土崎線、中通牛島線などが整備されています。今後も、各路線の未整備区間については計画的な整備が望まれます。

【公共交通】

本地域には、JR 秋田新幹線、奥羽本線、羽越本線が発着する秋田駅が整備されています。また、駅西口には市内の各地域へ向かう路線バスのバスターミナルが整備され、市民のみならず県内外からの来訪者にとっても、重要な交通拠点となっています。

今後は、鉄道とバス交通の連絡性の向上による公共交通の更なる利便性向上を目指すとともに、マイカー依存からの脱却によるCO₂の排出抑制に向けたライドアンドライドの促進や新たな地域内移動システムへの移行に向けた環境整備など、ソフト・ハード両面での対応が求められています。

⑤ その他の状況・課題

【景観形成】

中心市街地は、県内外の来訪者が集まる本市の玄関口として、県都秋田のイメージアップに繋がる秋田らしい景観形成が求められています。今後は、豊かな自然環境と歴史的・文化的景観を有する千秋公園を活かしながら、魅力ある街なか景観づくりを進めていく必要があります。

山王大通りでは、沿道緑化や電線類の地中化などが進められ、本市のシンボルロードとして緑豊かな良好な都市景観が形成されています。今後も引き続き、緑環境の適切な管理や屋外広告物等の規制・誘導策の導入などにより、良好な景観を維持してい

くことが重要となります。

また、寺町地区や大町地区では、昔ながらの歴史的な街並みが残されています。こうしたエリアについても、老朽建築物の建替えに配慮しながら、貴重な街並み景観の保全を図っていくことが求められています。

（２）目指すべき地域の姿

歴史・伝統と現代がふれあう 粋なまち

- 県的发展を牽引する 高次都市機能が集積したにぎわいのあるまちづくり
- 秋田らしさと歴史・文化が香る 魅力あふれる県都秋田の“顔”づくり
- 市内外への交通拠点として 公共交通の利便性が高いまちづくり

本地域は、本市のみならず県の産業活動の中心地であり、県全体の発展を牽引する役割を担った地域です。今後も商業・業務・行政などの既存都市機能の維持・拡充を図るとともに、県都にふさわしいにぎわいと活力あふれる拠点市街地の形成を目指します。

また、秋田新幹線の発着駅である秋田駅を有する本地域は、県内外からの来訪者を迎える玄関口としての役割も担っていることから、県都秋田のイメージを形づくる“顔”として、秋田ならではの歴史・文化・自然を活かした魅力ある市街地環境の形成を推進します。

さらに、秋田駅は市民の日常生活を支える、鉄道やバス交通などの公共交通の中心拠点でもあることから、円滑な都市間・都市内移動の確保に向けて、更なる利便性の向上に資する環境整備に取り組みます。

（３）まちづくりの方針

① 土地利用の方針

【都心・中心市街地の活性化】

- 商業・業務機能や交通機能が集中する秋田駅周辺から、行政機能が集中する山王地区を、本市の都心・中心市街地として位置づけます。
- 中心市街地については、市民の生活拠点として、また県内外からの来訪者の玄関口として、商業・業務機能の維持・充実を図るとともに、行政・医療・文化機能など、多様な都市機能の集積・拡充に向けた環境整備を進め、人が集うにぎわいのある市街地の形成を目指します。

- 市役所をはじめ、国・県の様々な官公庁施設や公共公益施設が集積する山王地区のパブリックゾーンにおいては、県の発展を支える行政拠点として、引き続きその機能の維持・充実を図るとともに、行政の中心地にふさわしい、ゆとりとうるおいのある都市空間の維持・管理を促進します。
- 仲小路をはじめとする既存の商業地においては、各種イベントなど自由に使える空間づくりや歩いて楽しめる買い物環境の創出など、街なかに人を集客するためのソフト面の充実による活力の向上を促進します。
- 幹線道路沿いの沿道型サービス施設については、中心市街地との商業機能の役割分担を図りつつ、都市機能の拡充に向けた計画的な立地を誘導します。
- 東北随一の繁華街である川反地区については、秋田の観光のにぎわいの原点として、地域文化・生活風習などを印象づける街並み形成や、隣接する旭川の親水性の向上など、各種協定等のエリアマネジメントを視野に入れた景観づくりを進めます。

【快適な居住環境の形成】

- 本市の中でも、高い生活利便性を有する本地域においては、集約型都市構造の実現に向けた街なか居住の促進に向けて、空き家・空室など既存ストックの活用や民間活力の導入を図り、郊外部からの住み替えの受け皿となる高齢者向け住宅等の確保・整備を促進します。
- 商業・業務系市街地内に残された、狭隘道路や狭小敷地によって構成される従来からの低層住宅地については、適切な道路や日照・通風が確保された良好な居住環境の形成に向けて、住民や行政の協働により、地区計画や建築協定などのまちづくりルールを導入を促進します。
- 土地区画整理事業等によって、良好な居住環境が形成されている住宅地については、引き続きその環境の維持・増進を図り、住宅地周辺の幹線道路沿いの商業・業務地については、後背の居住環境への十分な配慮を求めます。

【工業地の環境整備】

- 旧雄物川沿いの工業地については、周辺風致地区の自然環境や住環境との調和に配慮するとともに、産業振興に資する良好な操業環境の維持・更新を図ります。
- 工業地内に残された低未利用地については、都心部への良好なアクセス性を活かした企業誘致の促進により、有効利用を図ります。

【空き地・空き店舗等の利活用】

- 市街地内に残存する空き地や緑地については、市民や行政など多様な主体が連携・協働しながら適切な管理を図り、ポケットパークや除雪スペースとして、良好な市街地環境の形成に向けたオープンスペースとしての活用を図ります。

- 既存施設や商業地で発生している空きビル・空き店舗については、所有者の協力を得ながら、地域住民や高齢者の交流の場などとして有効活用し、地域内の活力の創出を促進します。

【自然環境の保全・管理】

- 本市の歴史・文化を象徴する千秋公園や市民のスポーツ拠点となる八橋運動公園などの大規模な公園については、市街地にうるおいを与える貴重な緑地空間の適切な保全・管理を図ります。
- 旧雄物川、旭川、草生津川、太平川など、地域内を流れる河川については、豊かな水資源の保全・管理と親水空間としての水辺環境の整備を促進します。
- 寺町地区に残存する境内の緑地空間については、その歴史的環境とともに、適切な保全・管理を図ります。

② 交通体系の整備方針

【幹線道路の整備促進】

- 地域内を通る市街地環状道路や都心環状道路などの環状道路については、未整備区間（都市計画道路川尻広面線等）の整備を促進し、市内環状道路ネットワークの早期完成を目指します。
- 環状道路網を相互に連絡する分散導入路については、関係機関との調整を図りながら、都市計画道路新屋土崎線や中通牛島線など、整備済みの道路の適切な管理を進めるとともに、未整備区間の計画的な整備を促進します。
- 秋田駅の東西を結ぶ秋田中央道路の適切な管理と、都市計画道路千秋広面線の機能強化や千秋山崎線の整備を促進し、秋田駅東西の交通渋滞の緩和および都心部への円滑なアクセス性の確保を図ります。

【持続可能な公共交通の確保】

- 市内外へ移動する際の拠点となる秋田駅については、交通結節拠点としての機能の充実に向けて、高齢者をはじめ、誰もが安全かつ円滑に移動できる交通施設の整備を図るとともに、鉄道とバス間の円滑な乗り継ぎ環境の整備など、相互の連携強化を促進し、更なる利便性向上を目指します。
- 秋田駅を中心とした円滑な都市内交通網の整備に向けて、秋田駅と各地域の地域中心を結ぶ、幹線バス路線の連携強化を促進します。
- 駅前のターミナルや駐輪場の利活用による、ライドアンドライドなど低炭素型の地域内および都市間移動への移行を促進します。
- 都市計画道路泉外旭川線による交通環境の変化を見極め、JR との連携を図りながら、泉・外旭川地区における新駅の方向性を検討します。

【中心市街地のにぎわい創出に向けた交通環境の整備】

- 中心市街地のにぎわい創出に向けて、バリアフリー型の歩行者空間の確保や駐車場・駐輪場の整備、車両進入規制や駅前駐輪の規制緩和などの検討、道路の利用形態などによっては走行空間の分離の検討を行うなど、歩行者・自転車・車など多様な交通手段が共存できる、快適で魅力的な市街地環境の形成を促進します。
- タウンビークル環境整備事業の推進や買い物ポイントによる駐車場無料システムの導入など、中心市街地の歩行者環境の改善によるにぎわい創出を目指します。
- 仲小路における歩行者モール化などの検討を図りながら、歩いて楽しめ、滞留空間にもなる商業環境の形成を促進します。

【安全で快適な道路環境づくり】

- 電線類の地中化を進めるとともに、狹隘道路の解消や歩道の確保を図り、人に優しい道路空間づくりを進めます。
- 市街地内におけるポケットパークの整備により、快適で魅力のある歩行空間の創出を推進するとともに、地域住民をはじめとする多様な主体の協働による適切な維持・管理を図ります。

③ その他の方針

【市街地開発事業の計画的な整備】

- 秋田駅西北地区については、土地区画整理事業の円滑かつ計画的な整備を推進し、多様な都市機能の集積が可能となる、駅周辺にふさわしい市街地形成を図ります。
- 中通一丁目地区市街地再開発事業については、土地の合理的かつ健全な高度利用と都市機能の更新を図ります。また、秋田駅前地区の未整備区域については、社会経済状況も踏まえながら、立地にふさわしい市街地再開発事業の展開を目指します。

【県都秋田の魅力ある“顔”づくり】

- 本市の玄関口となる中心市街地については、県都秋田のイメージを形成する“顔”づくりに向けて、魅力ある都市景観の形成を目指します。
- 都心部の貴重な緑と歴史・文化の場となる千秋公園の活用に向けて、公園と市街地を結ぶ導入部の魅力創出による、中心市街地との連携強化を図ります。また、商業施設等が立地するお堀周辺では、公園との連続性に配慮した景観の形成を図ります。
- 山王大通りについては、本市のメインストリートにふさわしい沿道機能の集積を促進するとともに、良好な都市景観を形成するケヤキ並木などの緑環境の維持・保全を図ります。

- 秋田らしい都市景観の創出に向けて、電線類の地中化や建築物、屋外広告物の形態規制の導入などにより、統一性のある美しい都市景観づくりを目指します。また、地元大学との連携・協働によるまちづくりデザインの導入など、活力と魅力あふれる都市空間の創出に向けた取組を促進します。

【水と緑のネットワークづくり】

- 都市にうるおいを与える水と緑のネットワークづくりに向けて、山王带状緑地の適切な維持・管理や旭川沿いでの沿川緑化の促進など、魅力ある河川環境の創出を図ります。
- 桜やコスモスなどの良好な景観が形成されている草生津川や太平川においては、市民や行政など多様な主体の連携・協働によって、引き続き魅力ある河川景観の維持・保全を図ります。
- 秋田駅前から山王地区の官公庁街に至る一体的な地域においては、沿道緑化など連続する緑空間の創出による、緑のネットワークづくりを促進します。

【安全安心なまちづくり】

- 安全安心なまちづくりに向けて、防犯活動や除雪作業などの地域コミュニティ活動の強化・充実を図ります。
- 地域内の既存施設や公園等を活用した、地域の子ども達との交流の場の創出など、住民同士のつながりの強化に向けた取組を促進します。
- 地域内の病院と連携しながら、近隣のコミュニティセンター、集会所などで健康づくりに向けた講座を開くなど、コミュニティレベルでの医療サービスの充実を促進します。
- 地震等の災害に強いまちづくりに向けて、地域内の老朽化建築物の建て替えと耐震化の促進を図ります。また、狹隘道路が残る地区については、地区計画等の導入により、緊急車両が円滑に通行できる道路を地区施設として確保するなど、安全性の高い環境整備を促進します。

■ 中央地域構想図

